

日本とドイツの実践現場から 移民・難民の支援について考える

2025年1月20日(月) / 14時~18時

場所：筑波大学 人文社会学系棟 A422 (対面とオンラインのハイフレックス開催)

開会挨拶：明石 純一 (筑波大学教授)

趣旨説明・司会進行：佐々木 優香 (獨協大学専任講師)

プログラム

● 趣旨説明・開会の挨拶 (14:00~14:10)

● セッション1 (14:10~15:10)

片山 奈緒美氏 (東洋大学講師)

難民の日本語教育の課題 ~生きていくための日本語を習得するには~

● セッション2 (15:10~16:10)

前田 直子氏 (獨協大学博士後期課程修了)

ドイツにおける難民の受け入れ状況と支援の実態 ~ベルリンの現場から~

● セッション3 (16:15~17:45)

中嶋 ひろ氏 (ANBEC 教育・職育コーディネーター / 1級キャリアコンサルティング技能士)

もはやデカセギではない、世界における在外ブラジル人の一員へ

~ANBECの活動から見えるもの~

東平 福美氏 (筑波大学博士後期課程)

国際交流協会における日本語教室の三つの形態

キムチュク・スヴェトラナ氏 (筑波大学博士後期課程)

日本における帰化制度の現状 ~在日ロシア人を事例に~

[共催/助成]

2024年度科学研究費挑戦的研究(開拓)「国際移民の統合に関する実証分析と理論的制度設計に基づく地域社会実装研究」(21K18130)

2024年度科学研究費若手研究「移民の子どもの教育達成に向けた親の役割とそのサポートに関する国際比較研究」(23K12595)

[申込方法]

リンクか QR コードから申し込みフォームにアクセスし、必要情報をご入力ください。

(<https://forms.gle/4eDpyM5DgpQfprMa8>)

1月19日(土) 〆切 (当日の午前中までに ZOOM の URL をお送りします。)

連絡先 佐々木優香 (yk_sasaki@dokkyo.ac.jp)

